

令和 8 年度 堀江保育園 事業計画

【1】 目的

保育を必要とする乳幼児を日々受け入れ、保育園が子どもにとって安心して成長できる場であること、保護者にとって共に子育てする場所であるための保育事業を行うことを目的とする。

【2】 運営方針

- 入園する乳幼児の最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進することに最もふさわしい生活の場を提供するよう努める。
- 保育に関する専門性を有する職員が家庭との密接な連携のもとに、乳幼児の状況や発達過程を踏まえ、養護及び教育を一体的に行う。
- 乳幼児の属する家庭や地域との様々な社会資源との連携を図りながら、乳幼児の保護者に対する支援及び地域の子育て家庭に対する支援等を行うよう努める。

【3】 保育理念

地域や保護者とともに、安心して生活できる環境のもと、子ども一人ひとりが様々な体験を通して、仲間とともに自分らしく生きる力を育てる。

【4】 保育方針

- 遊びを通して、子ども一人ひとりの伸びていく可能性を大切に育てる。
- 地域や家庭との信頼関係を築き、協力し合いながら子育てをする。

【5】 保育目標

- 元気で丈夫な体を育てる
- 自分で考え工夫して想像力を豊かにする
- 思いやりの心を育てる

【6】 重点目標

- ① 自園の業務継続計画（BCP）を元に、地震等の自然災害や感染症のまん延などの緊急事態を想定した訓練を実施し、計画を研鑽しながら災害時等に備える。
 - 業務継続計画（BCP）に基づき、地震・風水害・火災などの自然災害や感染症拡大を想定した避難訓練・対応訓練を年間計画に沿って定期的実施する。訓練後には職員間で振り返りを行い、課題の抽出と改善策の検討を通じて BCP の内容を随時見直すことで、より実効性の高い計画へと継続的に更新する。また、保護者への情報共有や連絡体制の確認・引き渡し訓練や災害伝言ダイヤルを用いた通知訓練等を行い、園児の安全確保と保育の継続性を高める体制づくりを進める。
- ② 津波・高潮時の高台への避難訓練を地元企業の協力を頂きながら実施し、非常時に備えた訓練を継続するなかで課題等を精査していく。
 - 津波・高潮発生時に迅速かつ安全に避難できる体制を確立するため、三浦工業(株)様の協力を得て高

台への避難訓練を年2回実施する。訓練では、避難経路の確認、職員の役割分担、園児の誘導方法、協力企業との連携手順などを実践的に検証する。訓練後には記録と振り返りを行い、課題の洗い出しと改善策の検討を通じて避難計画の精度を高める。継続的な訓練と連携強化により、非常時における園児の安全確保と迅速な避難行動の実現を目指す。

- ③ 架け橋期の円滑な接続を目指して地域の小学校と連携を図りながら、遊びを通して就学以降の学びの芽生えを培う。
 - 架け橋期における円滑な就学接続を図るため、堀江小学校と連携し、園児が遊びを通して学びの芽生えを育める環境づくりを進める。小学校教員との情報交換や交流活動を通じて、生活リズム・学びの姿・育ちの課題を共有し、就学前に必要な力を見通した保育を行い、園児が自信をもって小学校生活へ移行できるよう支援する。
- ④ 副主任保育士・業務リーダーの役割などを明確化し、保育の質向上や子どもの育ちの支えへと繋がるよう組織作りを具体的に進めていく。
 - 副主任保育士や業務リーダーの役割・責務を明確にし、職員がそれぞれの立場で専門性を発揮できる組織体制を整える。役割に応じて、保育実践のリード、職員間の連携調整、保育環境の改善提案、後輩職員の育成支援などを担い、園全体の保育の質向上につなげ、子どもの育ちをより確かに支える組織づくりを進める。
- ⑤ 保育園の取り組みや子どもたちの日々の様子を、ブログ等を利用して保護者や地域に向け発信する。
 - 保護者が園での子どもの姿をより身近に感じられるよう、ブログや園だよりのオンライン配信を通じて、日々の活動や子どもたちの成長の様子を定期的に発信する。季節の行事や保育のねらい、本園ならではの活動などを紹介し、園の保育方針への理解を深めてもらう。また、地域向けにも園の取り組み等を発信し、地域とのつながりづくり・保育を必要とする家庭への対応を促進する。発信にあたっては個人情報保護や写真掲載のルールを徹底し、安全で信頼性の高い情報提供に努める。
- ⑥ 職員自己チェックシートによる自己評価を定期的におこない、保育の向上や自己研鑽・不適切保育防止に役立てる。
 - 定期的に自己チェックシートを用いて自己評価を行い、保育実践の振り返りと保育園・自身の課題の明確化を図る。評価結果は園内研修や個別面談で共有し、専門性向上に向けた研修計画や日々の保育改善への反映を目指す。また、自己評価を通じて不適切保育につながるリスクを早期に把握し、組織としての予防的な取り組みを強化することで、園児にとって安心・安全な保育環境の維持と質の向上を目指す。

【7】 その他

- 「保育所運営委託に関するアンケート調査」を実施し、園運営における質の向上・改善へ取り組む。
- 堀江中央公園を借用した運動会の実施を通して、地域の方々との交流・連携を深める。
- 松山市保育・幼稚園課を通じた設備および備品の修繕・買替えをおこない、安全で快適な保育環境の保障に努める。

【8】 年間行事計画等

月	園行事	生活安全訓練（園児）	非常災害訓練 （園児・職員）
		危機管理訓練（職員）	
4月	入園式・進級式 ピザ作り（年長児）	新しい生活/交通安全 ・廊下、道路の歩き方	火災 ・非常ベルの音を知る ・「おはしも」の約束を知る
		・アナフィラキシーショック対応 ・エビペンの使い方	
5月	個別懇談 道後めぐり（年長児） 内科健診・歯科検診 磯遊び（年長児・年中児） 運動会	不審者対応 ・合図や指示で保育士のところへ集まる	地震・火災 ・机等の下への避難 ・防災頭巾の着用
		・SIDSにより意識が無くなった時の対応	
6月	どろんこ遊び じゃがいも掘り（年長児） 磯遊び（年長児・年中児） 高台避難訓練	交通安全 ・雨の日の歩き方 ・雨具の扱い方	地震・火災 ・津波について知る ・高台避難をおこなう（三浦工業 本社）
		・水いぼ、汗疹、おむつかぶれ等がある時の対応	
7月	夏祭り プール開き 子ども花火教室	夏の生活 ・水遊び、高温時の約束 ・花火の安全な遊び方	食事時の火災 風水害 ・ゲリラ豪雨や内水氾濫時の避 難の仕方を知る
		・溺水時の対応 ・熱中症発症時の対応	
8月	卒園児里帰り保育	交通安全 ・簡単な標識の見方	戸外遊び中の地震・火災
		・嘔吐下痢の処理の仕方	
9月	内宮中学校職場体験 祖父母ふれあい交流会 （年中児・年長児）	交通安全教室（松山交通安全協会）	大地震・火災 ・緊急地震速報を聞き意味を知 る
		・けいれん発作時の対応 ・坐薬等の確認	
10月	福角会祭（年長児）	交通安全 ・横断歩道の渡り方	午睡時の火災 ・布団の中にいる子どもが居な いか確認し避難誘導
		・所在不明時の対応	
11月	社会見学旅行（年長児） 遠足 内科健診・歯科検診 交通安全教室 高台避難訓練	交通安全（遠足時） ・バスの正しい乗降 ・公共の場のマナー	巨大地震・火災 ・津波を想定した高台避難をお こなう ・防災食を食べる経験 ・引き渡し訓練
		・心肺蘇生と AED の使用方法の確認	
12月	わくわく発表会 クリスマス会	冬の生活 ・寒い日の安全な歩き方	地震・火災
		・感染症集団発生時の対応	
1月	もちつき パン作り（年長児） ハッピーウインターデー （年長児）	不審者対応 ・「いかのおすし」の約束	火災 ・消防士立会いのもと訓練をお こなう ・水消火器を用いた消火訓練
		・食中毒発生時の対応	
2月	節分 じゃがいも種芋植え（年中児） 卒園・修了記念撮影 マラソン大会	交通安全 ・標識、信号の意味を知り歩く	居残り保育時の火災 ・いつもと違う集団・場所からの 避難誘導 ・保護者の訓練参加
		・誤嚥により意識が無くなった時の対応	
3月	ひな祭り お別れ会 お別れ遠足 卒園式	交通安全 ・交通ルールの総合的な確認 ・就学（通学）に向けた歩き方（年長児）	地震・火災 ・時間等未定での総合的な訓練
		・SIDSにより意識が無くなった時の対応 ・役割分担表での動きの検討	
月間 行事	・るるんウォーク（園外保育） ・レストランごっこ（食育活動） ・生活安全訓練	・ハッピーデー（季節の行事と誕生会） ・参加型参観日（6～10月・1～2月） ・非常災害訓練	・身長体重測定
園児 健康診断	・内科健診（年間2回） ・尿検査（年間1回/4歳児～5歳児）	・歯科検診（年間2回）	

